



人工関節置換術

四谷メディカルキューブ
手の外科チーム

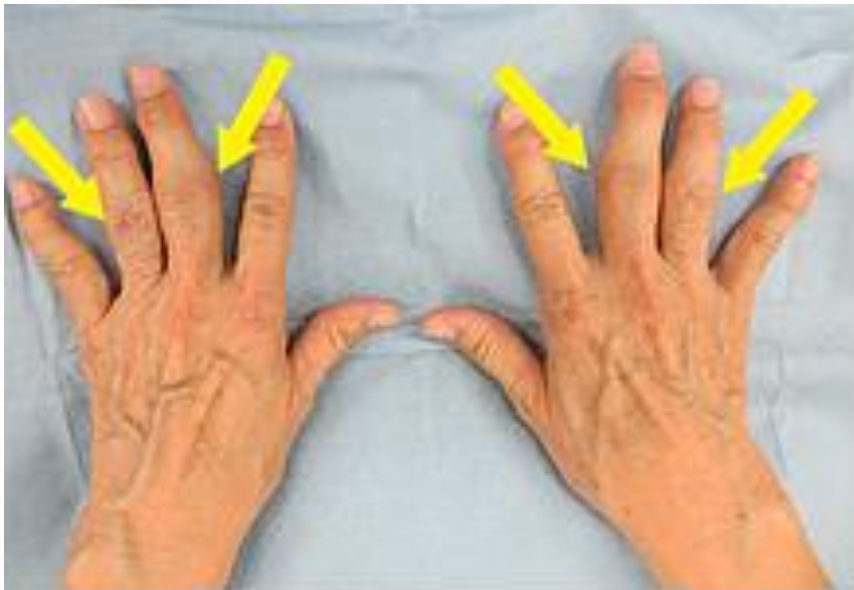
人工関節置換術 手術説明

1. ブシャール結節について
2. 予定している手術と方法
3. 治療の流れ
4. 手術前の検査・麻酔について
5. 手術当日の流れ
6. 入院に関すること
7. 手術後の経過について
8. 手のリハビリについて
9. 手術によって起こりうる症状について
10. 手術によって期待される効果と限界について

1. ブシャール結節について

- 症状

指先から2番目の関節（PIP関節）がこぶ状に膨らんで変形してきます。痛みが強い場合も全く痛みのない場合もありますが、関節の変形が進行すると曲がりにくくなります。



軟骨の変性により、レントゲン撮影では関節裂隙（かんせつれつつけき）の狭小化、骨棘（こつきよく）形成がみられます。

2. 予定をしている手術と方法

人工関節置換術

PIP関節（第二関節）を人工関節に置換する手術を行います。
 当院では一体型シリコンインプラントを使用しています。

一体型シリコン
インプラント



人工関節置換術後の
レントゲン写真

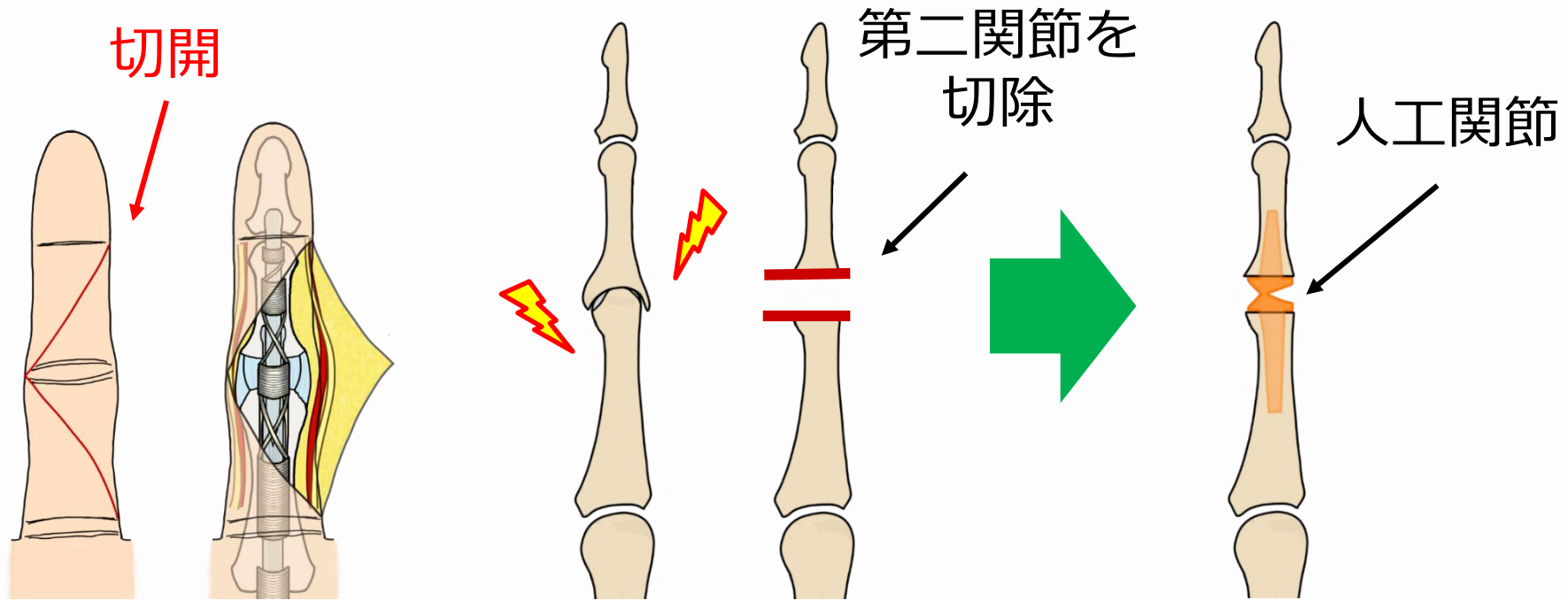


目的

- ①除痛をはかること
- ②可動性のある人工関節を挿入し、動きを増やすこと
- ③軟部組織を修復し、可能な限り変形を治すこと

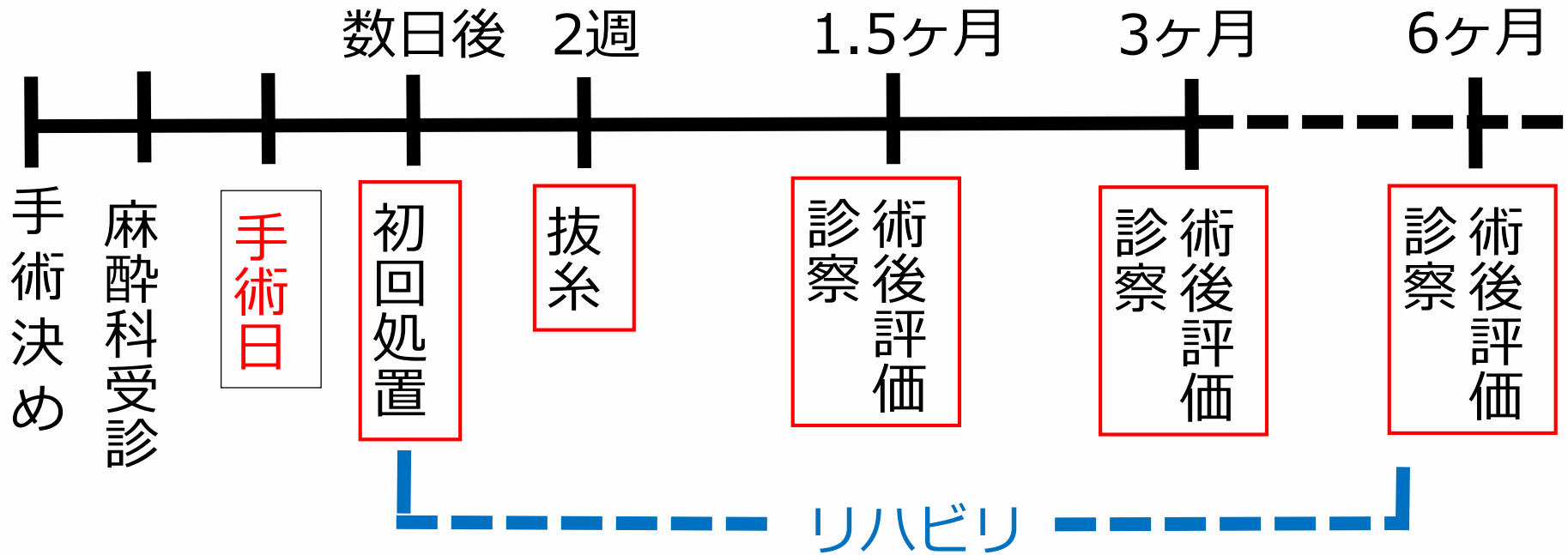


2. 予定をしている手術と方法



指の手のひら側に「く」の字の切開をおきます。
 (※指の状態によっては、指の甲側を切開する場合があります)
 痛んでいる第二関節を切除し、人工関節に置換します。

3.治療の流れ（来院していただく日）



- 手術数日後に初回処置、約2週後に抜糸があります。
- リハビリは初回処置から開始となり、術後の状態に応じてリハビリ通院があります。

初回処置日と抜糸日は、主治医が担当しないことがあります。

4. 手術前の検査・麻酔について

■ 必要な検査

術前検査があります。

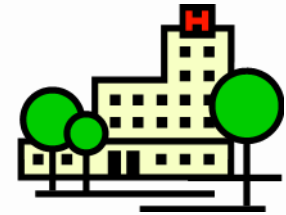


詳細については
麻酔科受診時に
麻酔科医師より
説明があります

■ 麻酔法

全身麻酔(静脈麻酔)+末梢神経ブロック

5. 手術当日の流れ



必ず指示された時間に1Fの受付にお越しくください。

担当者がご案内いたします。

- 当日は食事・水分摂取に制限があります。
- 血液のサラサラにするお薬をお飲みの方は、事前に休薬する必要があるためお知らせ下さい。

6.入院に関すること

- 手術当日の入院で**1泊2日**の予定です。
- 手術中、ご家族は宿泊室でお待ちください。
- 当院は全て個室対応となります。
- 入院費用は、3割負担概算にて**11～13万円**程度かかります。



※手術で実際に使用した材料や術式により費用が異なる場合があります。

※高額療養費支給制度の限度額適用認定証が適用されます。

☆高額療養費支給制度とは

70歳未満の方が医療機関に入院する際、事前手続きを行うと、窓口で支払う医療費を自己負担限度額までにとどめることができる制度です。



利き手を手術された方の食事です Yotsuya Medical Cube

7.手術後の経過

手術終了～包帯がとれるまで （術後数日）

- 手術後は包帯を巻いています。
- 包帯をビニールなどでカバーしてシャワー・入浴ができます。



包帯が濡れないように
してくださいね！



- 鎮痛剤と抗生物質が処方されます。



7.手術後の経過 退院後

退院後～抜糸まで (術後約2週間)

【清潔について】

- 創部にサージカルテープを貼付して生活して下さい。
(テープは2～3日に1度交換します。)
- 毎日1回、泡立てた石鹸で創部を洗って下さい。
- 流水 (シャワーなど) はきれいですが、溜め水(バスタブ、桶に張った水など)は不潔ですので創部をいれないで下さい。
- 温泉、プール、ジャグジーなどは禁止です。



※抜糸後は、清潔に関する制限は特にありません。

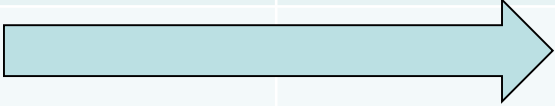
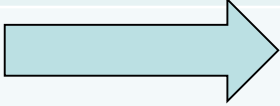
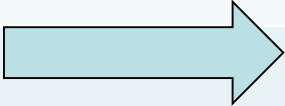
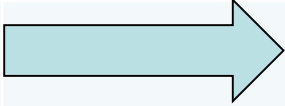
7. 手術後の経過 退院後

【活動について】

- 手術後約3～4週間は、テーピングをして軽作業は可能です。書字や箸動作は痛みに合わせて使用して下さい。
- 重い物を持つ、物を強く引っ張る、洗濯ばさみ、ペットボトルのふたを開けるなどの動作は行わないで下さい。
- スポーツなどの開始は、術後3ヶ月以降のことが多いです。



術後日常生活の注意事項

	手術後 ～包帯がとれるまで	包帯がとれてから ～抜糸	抜糸以降
手洗い	控えてください (濡らさない)	可能です 毎日手洗い要	可能です
シャワー	可能です (濡らさない)	可能です	
入浴 (自宅)	可能です (濡らさない)	可能ですが手を湯船に入れない	制限はありません
温泉やプール	控えてください	控えてください	制限はありません
旅行	控えてください	小旅行は可能	制限はありません
運動	控えてください	術式によって異なります。 医師にご相談ください	
飲酒	控えてください	制限はありません	
自転車	控えてください	術式によって異なります。 医師にご相談ください	

8.手のリハビリについて

- ・リハビリは手術後、初回処置日から開始となります。
初回処置のあとに、約30分～60分程度、リハビリの説明や装具の作製を行います。

リハビリの回数

	一般的な回数
術後～術後1.5ヶ月	1～2週に1回
術後1.5ヶ月～3ヶ月	月に2～3回
術後3ヶ月～5ヶ月	月に1～2回

※回数はあくまで目安です。

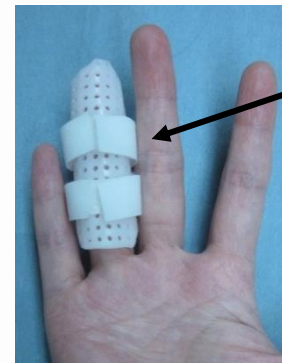
日中



テーピング
例：環指（薬指）

手術した指と隣の指を一緒にテーピングします

夜間



夜間装具

プラスチック製の固定をリハビリで作製します
手術後2～3か月装着します

9.術後に起こりうる症状について

腫脹や浮腫

術後1～2週間はキズの炎症により、赤く熱っぽい腫れがみられます。徐々に赤みや熱は引いていきますが、浮腫み（むくみ）は残りやすく、3～6ヶ月かけて軽減します。できるだけ早く腫れを引かせるために、手術後は**高挙手（手を心臓より高く挙げる）**や、**アイシング（冷やすこと）**を積極的に行ってください。

術後のしびれ

手術中の操作によって、術後3～6ヶ月しびれることがあります。時間が経つにつれて徐々に消えていきます。

9.術後に起こりうる症状について

手のこわばりや動かしにくさ

手術後は炎症が起こり腫れるため、一時的に指が動かしにくい、朝は硬くなって動かしにくいということがよくあります。むくみが軽減してくると徐々に改善してきますが、術後3ヶ月以上はみられます。

手の使いにくさ

手術後から、テーピングをして軽作業は行っても構いませんが、力が入りづらかったり、少しの動きで痛みを伴ったりする事があり、うまく使えません。時間とともに徐々に使い方に慣れていきますが、手術直後から今まで通りにすぐに使い始めることは難しいです。



家事などに関しては、ご家族にサポートをお願いしたり
道具など事前の準備をしておきましょう！！

10.手術によって期待される効果と限界



➤ 効果

第二関節が腫れる、痛みがあるといった症状は軽減されます。また、動かなかった関節の動きが拡大します。



➤ 限界

可能な限り関節の変形を治しますが、変形のない関節と全く同じように曲げる、伸ばす、側屈（指が横に曲がってしまっている状態）を戻す、のは困難です。新しい手術法のため、現時点で長期成績は分かっておりません。